

世界に誇れるものづくり

イーアイプロ意識で貢献できる人材

盛岡市上堂のソフトウェア・電子機器製造イーアイ(水野節郎社長、資本金5433万円)は、2012年発売のスマートフォン向けビーコン発信器「BLUETUS(ブルータス)」など自社商品の開発の他、無線、センサー機器、プリンターの企画設計などの受託開発も手掛けている。求めているのは営業とエンジニア。昨年9月に入社した営業マーケティング室の水野剛マネージャー(35)に、経歴からUターンの理由、企業の将来像などを聞いた。

地元さ 帰るべ 4

水野さんは盛岡四高、群馬大を卒業後、筑波大学院数理解析科学研究所に進学。新卒採用で最大手ガラスメーカー旭硝子(東京都)に就職し、技術営業としてBtoB(企業間取引)の商品を扱っていた。17年12月、IITベンチャーに転職し、マーケティングマネージャーを務め、Uターンしてフリー(東京都)に入社。クラウド会計シ

テムなどの企画開発を通して事業目標を達成するための考え方、戦術を習得した。

「旭硝子では営業とマーケティングの基礎を身に付け、ユニクロでは目標達成に向けた行動指標の立て方や、スタッフのモチベーション管理などを学んだ」と水野さん。「従業員の意欲喚起には、目標達成の意識を共有し、一人ひとりに『自分の仕事が会社の業績に役立っている』という実感を持たせることが大切。それぞれの立場や負担を理解した上で、業務改善や効率化を図ることが、企業の高い収益性や成長性につながる」と説く。

free 在職中の3月から、八幡平市の副業受け入れプロジェクトを活用し、市内の宿泊施設「いこの村岩手」にビジョン開発実現室長として働き始めた。現在も営業・組織の強化、集客戦略の策定、施設改善を進める経営刷新プロジェクトチームを先導している。従業員の負荷を減らした業務の効率化、顧客満足度を高める施策などを進め、経営者からの信頼も厚い。

イーアイは、



昨年9月に入社した営業マーケティング室の水野マネージャー

盛岡市出身 水野剛さん

水野社長をはじめアル社員らで2003年に「培った高い技術力、プス電気盛岡工場の元創業。プリンター開発」開発から量産まで手掛

ける体制を強みに業績を伸ばしてきた。現在従業員は54人。

水野さんが父親の会社に入社した理由は、副業を通して地元で働く楽しさや喜びを感じ、「自分の基盤は岩手にある」と実感したところにあるという。

「地元の仕事の良さを感じる反面、こうすればもっと良くなるの」と思うことがたくさん出てきた。顧客目線の商品発信や、意欲ある若手の発言が生き生きする環境、社員が仕事にやりがいとプロ意識を持って組織に貢献している風土などを、都市部で得た力で実現したいと決めた」と振り返る。

掲げている最大目標は「岩手で一番年収が高い会社」。「社員の幸福度を高めるために企業ができることは、業務に対する対価を上げること。社員の収入を

上げることで、社員の先にある家族の人生の幅も広げられる。そのため、企業収益を高める策を積極的に展開し、社員に還元していきたい」と語る。

Uターンの不安払拭(ふっしょく)には「長期目標に沿った行動計画を立案すること」を勧める。「Uターン前分(フレックスタイム制適用あり)【月給】大卒19万円※新卒は学歴によって異なり、中途採用は経験・実績で決める【待遇】社保完備、土日祝休み、年次有給休暇、父親休暇、交通費全額支給、賞与あり【応募資格や詳細】同社ホームページ専用ページ(<http://www.eri.co.jp/free>)まで。同社は、

いわて産業人材奨学金返還支援制度の登録企業。若者の県内就職と就職者の奨学金の返還を積極的に支援している。(飯森歩)

「当社の目標は『世界に通用するものづくり』で、世界初の商品を生み出す技術力に長けた会社。これからは営業力を強化して自社